

## 第9回ワークショップ災害を観る

災害対応、さらにはその後の復旧・復興の効率化を図るために情報処理技術は重要な役割を果たしています。本シンポジウムは「災害の可視化」を共通キーワードに、安全・安心分野における情報処理技術に関わる最新の成果の発表を行い、危機管理に関わる多様なステークホルダーと安全・安心に関わる知見・技術を共有する事を目的として、2年に1回開催してきました。

第9回目となる今回は「災害対応、復旧・復興ための情報システム」をテーマに開催します。災害発生直後の被害情報の収集・集約、避難所運営支援、その後のまちの再建、さらには生活再建支援といった災害後の対応全般に関わる情報システムについて、最新の成果の共有と、今後の災害対応、復旧・復興に関わる情報システムのあり方についての議論したいと思います。

場所：京都大学百周年時計台記念館 国際交流ホール I

[http://www.kyoto-u.ac.jp/ja/access/campus/map6r\\_y.htm](http://www.kyoto-u.ac.jp/ja/access/campus/map6r_y.htm)

京都市左京区吉田本町

日時：2014年2月19日（水）10:00～17:35

20日（木）9:00～12:30

主催：京都大学デザイン学大学院連携プログラム

共催：京都大学防災研究所巨大災害研究センター

後援：公益財団法人関西エネルギー・リサイクル科学研究振興財団

ESRIジャパン株式会社

2月19日（水）

開会挨拶：

10:00-10:20

災害対応、復旧・復興に関わる情報システム

林春男（京都大学防災研究所巨大災害研究センター長・教授）

10:20-12:00

・セッション1：ハザードとリスクを可視化する

松岡昌志（東京工業大学）＜コーディネーター＞

10:20-10:40・コーディネーター発表：研究分野の概況とコーディネーターの成果発表

10:40-11:00・リュウ・ウェン（東京工業大学）「レーダ画像からの地盤変動の可視化」

11:00-11:20・三浦弘之（広島大学）「リモートセンシングによる個別建物被害の可視化」

11:20-11:40・丸山喜久（千葉大学）「自動車運転者目線での津波遡上状況の可視化」

11:40-12:00・質疑応答＋発表者相互のディスカッション

<昼休み 12:00-13:30>

13:30-15:30

・セッション2：情報学と防災学の連携

野田 五十樹（産業技術総合研究所）<コーディネーター>

13:30-13:50・コーディネーター発表：研究分野の概況とコーディネーターの成果発表

13:50-14:10・塚田晃司（和歌山大学）「災害時の情報配信技術」

14:10-14:30・鳥海不二夫（東京大学）「災害情報とソーシャルメディア」

14:30-14:50・木村玲欧（兵庫県立大学）「防災・災害対応学習～防災リテラシーハブ」

14:50-15:10・小島一浩（産業技術総合研究所）「被災地復興での技術支援」

15:10-15:30・質疑応答+発表者相互のディスカッション

<休憩 15:30-15:45>

15:45-17:35

・セッション3：ビッグデータを用いた災害の可視化

関本義秀（東京大学）<コーディネーター>

15:45-16:05・コーディネーター発表：研究分野の概況とコーディネーターの成果発表

16:05-16:25・堀口良太（株式会社アイ・トランスポート・ラボ）

「災害・交通ビッグデータの融合による災害時のモビリティ支援～DOMINGOプロジェクト」

16:25-16:45・田口仁（防災科学技術研究所）

「東日本大震災を踏まえた災害情報の共有プラットフォームの構築に向けて」

16:45-17:05・瀬戸寿一（東京大学）

「クラウドソーシングを通じた「クライシスマッピング」と災害情報の共有」

17:05-17:35・質疑応答+発表者相互のディスカッション

2月20日（木）

9:00-10:40

・セッション4：マイクロメディアサービス：狭域防災情報

須藤三十三（グローバル・サーベイ株式会社）＜コーディネーター＞

9:00-9:20・コーディネーター発表：研究分野の概況とコーディネーターの成果発表

9:20-9:40・井ノ口 宗成（新潟大学）

「都市の脆弱性軽減を目指したマイクロメディアサービス」

9:40-10:00・村田 岳彦（狭域防災情報サービス協議会）

「災害発生～復興に向けたITとインターネットの役割」

10:00-10:20・平本 健二（経済産業省）「災害時におけるソーシャルメディア活用」

10:20-10:40・質疑応答＋発表者相互のディスカッション

<休憩 10:40-10:50>

10:50-12:30

・セッション5：ウェブEOCを用いた災害対応

前田裕二（N T Tセキュアプラットフォーム研究所）＜コーディネーター＞

10:50-11:10・コーディネーター発表：研究分野の概況とコーディネーターの成果発表

11:10-11:30・前川二郎（京都府）「京都府での取り組み」

11:30-11:50・山本知巳（橿原市）「橿原市での取り組み」

11:50-12:10・**圖書学**（N T Tラーニングシステムズ株式会社）

「建物被害調査への適用事例」

12:10-12:30・質疑応答＋発表者相互のディスカッション

12:30

閉会の挨拶